

第126回国立天文台運営会議議事抄録

日 時：2025年11月25日（火）11時00分～16時00分

場 所：国立天文台大会議室及びオンライン（Zoom）

出席者（会場）：吉田（議長）、生駒、鵜澤、大向、栗木、河野、齋藤、渡部 各委員

出席者（Zoom）：兒玉（副議長）、臼田、小林、住、田越、野村、深川、本間、宮崎、
山田、横山 各委員

欠席者：荒井、米倉 各委員

オブザーバー：土居台長、玉井部長

【サイエンスレポート】

次のとおり、研究成果の報告があり、質疑応答を行った。

「地上望遠鏡と宇宙望遠鏡の共演で発見された、赤色矮星を周回する褐色矮星」

（アストロバイオロジーセンター 特任助教 葛原 昌幸）

【台長等諸報告】

1. 研究教育職員の人事異動について

土居台長から、資料1に基づき、研究教育職員等の人事異動について報告があった。

2. 台長諸報告

土居台長から、資料2に基づき、TMT関連の状況、国際連携、来訪者の情報等について報告があった。

【議 事】

1. 前回議事抄録について

資料3に基づき、第125回議事抄録について内容を確認した。

2. 研究教育職員等の人事について

（1）年俸制職員（特任教員）の選考について

野村委員から、回収資料1に基づき、国立天文台フェローの選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、2名を採用することとし、辞退者が出了場合に備えて、1名の採用候補者を選定した。また、これまでの国立天文台フェローへの応募者数の推移や内訳を分析し、次回以降に報告することとした。

続いて深川委員から、回収資料2に基づき、アルマプロジェクト特任助教の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

アルマプロジェクト 特任助教 1名

（2）研究教育職員の選考について

アルマプロジェクト教授または技師長の選考について、回収資料3に基づき、人事候補者選考会から審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

アルマプロジェクト 教授 1名

続いて、重力波プロジェクト准教授の選考について、回収資料4に基づき、人事候補者選考会から審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

重力波プロジェクト 准教授 1名

続いて、先端技術センター先任研究技師の選考について、回収資料5に基づき、人事候補者選考会から審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

先端技術センター 先任研究技師 1名

（3）職務確認書について

土居台長から、資料4に基づき、次の者にかかる職務確認書の報告があった。

2025年9月1日付け着任 先端技術センター 先任研究技師 1名

3. 自然科学研究機構名誉教授候補者選考委員会の設置について

吉田議長から、資料5に基づき、自然科学研究機構名誉教授候補者選考委員会の設置について説明があり、原案のとおり承認した。

4. 将来計画策定について

科学戦略委員会の本原委員長から、資料6-1～6-4に基づき、第IV期第11回から第12回までの科学戦略委員会及び第9回から第10回までのサイエンスロードマップ策定委員会（2025年8月21日、2025年9月19日開催）における議論について報告があった。また、他業務との利益相反によりサイエンスロードマップ策定委員会委員を辞任した山田委員の後任選定及び補充は行わないこととした。

5. 報告事項

（1）ハワイ観測所岡山分室の状況について

吉田議長から、資料7に基づき、ハワイ観測所岡山分室の運営状況及び別途メール審議により承認した同分室長の雇用契約更新手続きについて説明があり、意見交換を行った。

(2) 2026年度国立天文台予算編成方針について

齋藤委員から、資料8に基づき、国立天文台の2026年度予算編成方針について報告があり、質疑応答を行った。

(3) 今後の開催日程について

資料9に基づき、次回以降の開催日程を確認した。

以上